

改正個人情報保護法、 対策できていますか？



企業に影響する改正の主なポイント

報告・通知の義務化



漏洩や滅失など、個人の権利利益を害する恐れが大きいインシデントの、
委員会への報告及び本人への
通知の義務化

ペナルティの強化



個人情報データベースなどの不正提供
利用に対する罰金が**最大1億円以下**に
なるなど、ペナルティの大幅な強化

日常業務に潜む情報漏洩リスクへの 対策が不可欠です

1 Web経由の情報漏洩

- Web経由での**標的型攻撃**や**マルウェア感染**
- 業務上不要なSNSを利用した**内部からの漏洩**
- クラウドストレージ経由での**機密情報の不正持ち出し**

Webセキュリティ

i-FILTER®

2 メール経由の情報漏洩

- メール経由での**標的型攻撃**や**マルウェア感染**
- メールの**誤送信**による情報漏洩
- 私用メールアドレスへの**機密情報の送信**

メールセキュリティ

m-FILTER®

3 ファイル経由の情報漏洩[※]

- 不正アクセスによる**機密ファイルの窃取**
- 退職者による意図的な**情報の持ち出し**
- 機密ファイルの**誤送信**

ファイルセキュリティ

FINALCODE®

※第三者により不正に窃取されたファイルが「高度な暗号化」により暗号化されているとみなされた場合、
報告義務が発生しません。

デジタルアーツ製品で、 強固な情報漏洩対策を実現！

i-FILTER®

外部攻撃対策と内部情報漏洩対策が可能なWebセキュリティ製品

Webのホワイト運用



DBに登録されている安全なWebサイトのみアクセスさせ、DB登録済みの危険なサイト及びDB未登録のサイトはブロック

豊富な外部攻撃対策機能



ファイルの拡張子判定機能や、認証情報送信の警告機能で、改ざんサイトやフィッシングサイトに対応が可能

柔軟な情報漏洩対策機能



Webサービス进行操作ごとに制御可能で、SNSやオンラインストレージでの情報漏洩を防止

m-FILTER®

受信対策と送信対策が可能な総合メールセキュリティ製品

メールのホワイト運用



安全な送信元の情報が格納されているDBを利用し、登録されていないメールは偽装判定を実施するため、安全なメールのみ受信が可能

豊富な誤送信対策機能



時間差配送や、上長承認、強制Bcc化など豊富な誤送信対策機能を搭載。保留時間や社外、社内の切り分けなど、柔軟に設定が可能

独自の内部不正対策機能



デジタルアーツが配信するプライベートドメインのDBを活用し、メンテナンスフリーでプライベートドメインへのメールの送信制御が可能

FINALCODE®

利便性×機密性を実現したファイル暗号化製品

ファイルを守る



パスワードレスでファイルを暗号化。編集・コピー・印刷などの多彩な権限設定のほか、リモートで権限を変更することも可能

ファイルを追跡する



暗号化したファイルに「誰が・いつ・どんな操作を行ったか」を記録し、不正な操作があった場合には通知を受け取ることが可能

あとから削除する



渡したファイルをリモートで削除することができるため、機密ファイルが相手の手元に残ってしまう心配がない

・本書は2022年2月現在の情報に基づいて作成しております。（※記載内容は変更される場合があります）・本書は、弊社製品「i-FILTER」「m-FILTER」「FinalCode」及び関連製品の導入検討のためにのみご利用いただき、ほかの目的のためには使用しないようご注意ください。
・デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、info board、Active Rating System、D-SPA、NET FILTER、SP-Cache、White Web、ZBRAIN、クレデンシャルプロテクション、ホワイト運用、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER Anti-Virus、m-FILTER File Scan、Mail Detox、m-FILTER EdgeMTA、EdgeMTA、FinalCode、DigitalArts@Cloud、Desk@Cloud、Desk、DアラートおよびDコンテンツその他の弊社・弊社製品関連の各種名称・ロゴ・アイコン・デザイン等はデジタルアーツ株式会社の登録商標または商標です。

デジタルアーツ株式会社

東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエア ウエストタワー14F

<https://www.daj.jp/>

DD-11250-002